

マルセイユ・ヴァイス

2005(平成17)年1月29日鑑賞(ユウラク座)

★★



監督=ジル・パケ=ブレネル/出演=ストーミー・バグジー/ティトフ/エロディ・ナヴァール/ジャン・ヤヌ (日活配給/2003年フランス映画/109分)

……フランスのマルセイユを舞台とした全く個性の異なる2人の刑事による痛快アクション。「ヴァイス」=「悪徳」がこの映画のミソ! 難しいことは考えず、ただその活劇を楽しめばいいのだが……?

ショートコメント

この映画は、フランスの美しい港町であるマルセイユを舞台にくり広げられる、地元のちゃらんぼらんで買収に弱いマックス刑事(ティトフ)とその相棒として新たにパリから派遣された堅物でクールなカルロス刑事(ストーミー・バグジー)の活躍を描く刑事アクション。「ヴァイス」とはフランス語で「悪徳」を意味する言葉。

裏社会を牛耳る悪の親玉は誰か? 2人はこれにどう立ち向かっていくのか? ポーリーナ(エロディ・ナヴァール)によるちょっとしたお色気をまじえた痛快アクションの連続だが、逆にいえば、ただそれだけ……?

2005(平成17)年2月1日記